

めざす成果及び戦略 3-1 【地域福祉の推進】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・行政と、住民をはじめ地域団体・保健・医療・福祉関係者などとの協働により、誰もが地域で安心して自分らしく暮らせる環境が整備されている。	戦略<中期的な取組の方向性> ・区の地域福祉を推進するため、平成25年度に全地域に策定された「地域福祉活動計画(地域福祉アクションプラン)」に基づき、各地域において活動が主体的に、継続的に推進されるよう支援する。 ・高齢者が身近な場所で相談や見守り、一時的な援助が受けられるとともに、必要に応じて専門機関や福祉制度が活用できるようにサポートするコーディネーターを配置する。また、各小学区下においてつながりづくりや支えあいの活動に参加する新たな人材を発掘・育成する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ※重点課題 ○「住んでいる地域が高齢者や障がいのある人、子どもにとって住みやすい」と答えた区民の割合 ・26年度:38.9% → 31年度:55%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	A:順調 B:順調でない		
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

具体的取組 3-1-1 【地域福祉アクションプランの推進支援】

26決算額 - 円 27予算額 - 円 28予算額 - 円

計画	取組内容 各小学校下の地域福祉活動計画(地域福祉アクションプラン)の内容が地域で根付き、活動が着実に推進されるよう引き続き支援を行う。 ・平成25年度に策定された「港区地域福祉活動計画」をさらに推進するため、各地域で地域住民懇談会を開催:各1回	業績目標(中間アウトカム) 地域住民懇談会の開催:11校下 【撤退基準】 住民懇談会の開催校下が5校下以下であれば事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成26年度 ・各校下においてスタートアップ会議を開催 ・地域福祉活動計画(地域福祉アクションプラン)活動報告会への参加校下:11校下 平成27年度 ・各地域福祉活動計画(地域福祉アクションプラン)情報交換会開催(H28.1.21)

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組3-1-2 【高齢者等要支援者の見守り支援】

26決算額 15,499千円 27予算額 14,795千円 28予算額 14,748千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	地域における見守りのネットワークを強化するため、要支援者の情報の集約や孤立死リスクの高い要支援者等の支援を実施する。地域見守りコーディネーターを区内全11校下に配置し、高齢者等の相談や見守り支援、シニア・サポート事業のマッチング等を行うことにより、地域における住民主体の福祉コミュニティづくりを推進する。要支援者の情報をネットワーク委員、民生委員に提供するとともに、新たな見守り協力事業者の登録及び人材育成を進め、地域での見守り体制の強化を図る。	見守り協力事業者研修会の実施：2回 【撤退基準】 見守り協力事業者研修会：開催0回なら事業を再構築する。 前年度までの実績 平成25年度 要支援者からの相談延べ件数：2654件 見守りサポーター登録数：239名 サービス依頼延べ件数：2,483件 平成26年度 要支援者の情報数：2,213件 見守り協力事業者の登録総数：64件 平成27年度(8月末時点) 要支援者の情報数：934件 見守り協力事業者の登録総数：70件

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組3-1-3 【認知症支援ネットワークの充実】

26決算額 -円 27予算額 -円 28予算額 -円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	認知症や認知機能の低下予防に関する正しい理解を深めるため、講演会や研修会等啓発活動を行う。 認知症の症状の早期の発見、気づきを適切なケアに結びつけられるように、早期診断、早期対応の仕組みづくりに取り組む。 認知症の人やその家族を地域で支援するため、これまでの保健・医療、介護・福祉の関係機関の連携をもとに、さらなる連携体制の強化に取り組む。	・認知症講演会の開催 1回 ・認知症相談会の開催 6回 ・認知症連絡会の開催 8回 【撤退基準】 前年度の実績以下であれば事業を再構築する。 前年度までの実績 ・認知症講演会の開催 1回 ・認知症相談会の開催 4回 ・認知症連絡会の開催 8回

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 3-2 【地域包括ケアシステムの構築】

計画	めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定> ・行政と、住民をはじめ地域団体・保健・医療・福祉関係者など、地域の関係者との協働により、誰もが地域で安心して医療や介護サービスを受けることができる状況になっている。	戦略<中期的な取組の方向性> ・高齢者等が疾病を抱えても住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるように、医療と介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護サービスを提供する。 ・多様化、増大する高齢者の生活支援ニーズにこたえるため、NPOやボランティア、民間企業等の多様な事業主体による生活支援サービスの提供体制の構築を支援する
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ○「住んでいる地域が高齢者や障がいのある人、子どもにとって住みやすい」と 答えた区民の割合 ・26年度:38.9% → 31年度:55%以上	

具体的取組 3-2-1 【在宅医療・介護連携の推進】

		26決算額	- 円	27予算額	- 円	28予算額	- 円
計画	取組内容 疾病を抱えても、自宅等の住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活が続けられるよう、地域の医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護サービスを提供できる体制を構築するため、関係機関と連携して取組を進める。 ・在宅医療・介護連携推進会議開催:3回 ・在宅医療・介護連携に関する専門職向け研修会開催:1回 ・在宅医療・介護連携に関する一般向け講演会開催:1回	業績目標 (中間アウトカム) 「在宅医療と介護について理解できた」と答えた講演会の受講者の割合:70% 【撤退基準】「在宅医療と介護について理解できた」と答えた講演会の受講者の割合が50%以下であれば事業を再構築する。 前年度までの実績 26年度:「在宅医療介護連携推進会議」を設置 在宅医療・介護資源マップ作成 在宅医療・介護連携に関する専門職向け研修会開催:1回 在宅医療・介護連携に関する一般向け講演会開催:1回 27年度:在宅医療・介護連携に関するアンケート調査を実施 在宅医療・介護連携に関する専門職向け研修会開催:1回 在宅医療・介護連携に関する一般向け講演会開催:1回					
	中間振り返り	業績目標の達成状況 ①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況 ①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)					

具体的取組3-2-2

【介護予防・日常生活支援総合事業のモデル実施】

		26決算額	-円	27予算額	-円	28予算額	-円
計画	取組内容	生活支援コーディネーターをモデル的に配置する「生活支援コーディネーター配置事業」を実施し、地域資源の開発や関係者間のネットワーク構築、地域ニーズに応じた多様なサービス提供主体を確保するための調整等を行う。 ・地域資源のネットワーク化 ・生活支援の担い手の発掘・養成 ・活動の場の発掘・開発 ・サービス実施情報の提供・周知					
	業績目標（中間アウトカム）	・サロン講座の開催 年2回 ・※協議体の開催 年2回 ※協議体：各地域におけるコーディネータと生活支援・介護予防サービスの提供の主体等が参画し、情報共有及び連携強化の場として中核となるネットワーク。 【撤退基準】サロン講座の開催と協議体の開催のうちひとつでも年1回となった場合は事業を再構築する。					
	前年度までの実績	27年度：地域資源の調査と取りまとめ 協議体の設置					
中間振り返り	業績目標の達成状況	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成					
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)					

めざす成果及び戦略 3-3 【セーフティネットの充実】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>	高齢者や障がい者、支援を必要とする子どもにとって、関係機関や地域で活動する団体・グループと連携し、身近に相談がしやすく安心して生活できる環境が整備されている。	戦略<中期的な取組の方向性>	・高齢者、障がい者、子どもなどに関する相談機能を充実させるとともに、関係機関や地域で活動する団体・グループとの連携強化を図り、支援を必要とする住民一人ひとりの多様なニーズに適切に対応する。 ・要支援者に対する相談や通報を行政等につなげやすい体制を構築する。 ・関係機関と連携し、虐待ケースへの迅速・適切な対応と支援を行う。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	「住んでいる地域が高齢者や障がいのある人、子どもにとって住みやすい」と答えた区民の割合 26年度:38.9% → 30年度:55%以上		

具体的取組 3-3-1 【高齢者等要支援者の見守り支援】【再掲】

		26決算額	15,499千円	27予算額	14,795千円	28予算額	14,748千円
計画	取組内容	<p>地域における見守りのネットワークを強化するため、要支援者の情報の集約、孤立死リスクの高い要支援者等の支援を実施する。</p> <p>地域見守りコーディネーターを区内全11校下に配置し、高齢者等の相談や見守り支援、シニア・サポート事業のマッチング等を行うことにより、地域における住民主体の福祉コミュニティ作りを推進する。</p> <p>要支援者の情報をネットワーク委員、民生委員に提供するとともに、新たな見守り協力事業者の登録及び人材育成を進め、地域での見守り体制の強化を図る。</p>					
	業績目標 (中間アウトカム)	<p>見守り協力事業者研修会の実施: 2回</p> <p>【撤退基準】 見守り協力事業者研修会: 開催0回なら事業を再構築する。</p> <p>前年度までの実績</p> <p>平成25年度 要支援者からの相談延べ件数: 2654件 見守りサポーター登録数: 239名 サービス依頼延べ件数: 2,483件</p> <p>平成26年度 要支援者の情報数: 2,213件 見守り協力事業者の登録総数: 64件</p> <p>平成27年度(8月末時点) 要支援者の情報数: 934件 見守り協力事業者の登録総数: 70件</p>					
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	戦略に対する取組の有効性	<p>①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>③: 撤退基準未達成</p> <p>○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)</p>					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	戦略に対する取組の有効性	<p>①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>③: 撤退基準未達成</p> <p>○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)</p>					

具体的取組3-3-2

【乳幼児発達相談事業の強化・発達障がい児の養育者支援】

26決算額 3,120千円 27予算額 3,261千円 28予算額 3,001千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	障がい児を持つ養育者等からの相談に応じて情報提供や助言等が行えるよう、とりわけ障がい特性や支援手法についての普及・理解が十分でない発達にかたよりのある子どもとその養育者が早期に相談が受けられるよう、臨床心理士等による専門的な支援を行うとともに、養育者どうしが情報を交換しあい、また、同じ経験を持つ養育者に気軽に相談できる場の提供を行う。	「相談できる場を利用した事で、不安軽減された」と答えた養育者の割合80%を目指す。 【撤退基準】同上で、60%以下の場合は事業を見直す。
	・ピアカウンセリング 7回(1回につき2組) ・講演会 1回 ・臨床心理士による専門的支援 ・港区障がい者相談支援センターにおける相談件数	前年度までの実績 ・ピアカウンセリング 10回 18人(月1回)(1月末現在) ・講演会 1回 ・臨床心理士による専門的支援 154人(12月末現在) ・港区障がい者相談支援センターにおける相談件数 1,561件(8月末現在)

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組3-3-3

【児童虐待の防止・DV被害者の支援】

26決算額 124千円 27予算額 201千円 28予算額 201千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	要保護児童対策地域協議会において、関係機関と連携し児童虐待ケースの的確な対応と支援に向け確実に進捗管理を行う。また連携機関に対し、児童虐待防止や子育て支援に関する講演会を実施するとともに交流する場を作り「子育て支援室」へ繋がりやすい体制を作り、虐待の発生防止や早期発見、虐待事案への迅速・適切な対応を行う。 DV被害者の迅速かつ安全な保護及び各種法制度利用に関する援助などの自立支援を行う。 ・要保護児童対策地域協議会 実務者会議の開催: 14回 ・子育て支援連絡会の開催: 12回 ・虐待防止や子育て支援に関する講演会の開催: 各1回	講演会のアンケートで虐待防止や子育て支援への理解が深まった人の割合が80%。 【撤退基準】60%に満たない場合は、事業を再構築する。
		前年度までの実績 ・要保護児童対策地域協議会 実務者会議の開催 11回(1月末現在) ・子育て支援連絡会の開催 10回(1月末現在) ・虐待防止や子育て支援に関する講演会 : 2月・3月に実施 ・DV相談件数 H24: 27件、H25: 52件、H26: 57件

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組3-3-4

【障がい者・高齢者虐待の防止の取組み】

		26決算額	- 円	27予算額	- 円	28予算額	- 円
計画	取組内容	<p>障がい者・高齢者に対する虐待という権利侵害から守り、尊厳を保持しながら安定した生活ができるよう、地域包括支援センター、障がい者相談支援センター等の関係機関と連携し、虐待の発生防止や早期発見、虐待事案への迅速・適切な対応を行う。また民生委員等の地域団体や関係機関に対し、障がい者・高齢者虐待防止に対する理解を深め連携を強化するため講演会を実施する。</p> <p>・サービス利用調整会議の開催：随時 ・障がい者・高齢者虐待防止連絡会議の開催：1回 ・障がい者・高齢者権利擁護講演会の開催：1回</p>					
	業績目標（中間アウトカム）	<p>講演会のアンケートで権利擁護についての理解が深まった人の割合が80%。</p> <p>【撤退基準】60%に満たない場合は、事業を再構築する。</p> <p>前年度までの実績</p> <p>25年度：サービス利用調整会議の開催：随時 障がい者・高齢者虐待防止連絡会議の開催：1回 高齢者虐待防止講演会の開催：1回</p> <p>26年度：サービス利用調整会議の開催：随時 障がい者・高齢者虐待防止連絡会議の開催：1回 障がい者・高齢者権利擁護講演会の開催：1回</p>					
中間振り返り	業績目標の達成状況	<p>①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成</p>					
	戦略に対する取組の有効性	<p>○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)</p>					
自己評価	取組実績	<p>課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p>					
	業績目標の達成状況	<p>改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p>					
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	<p>○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)</p>					

具体的取組3-3-5

【生活困窮者対応の充実】

		26決算額	- 円	27予算額	- 円	28予算額	- 円
計画	取組内容	<p>生活全般における困りごとの総合的な相談窓口として「くらしのサポートコーナー」を区庁舎2階に開設している。</p> <p>相談に訪れた区民から丁寧に相談内容を聞き取り、本人の同意のもと支援プランを策定するが、「くらしのサポートコーナー」だけで解決できる案件は少数である。すでにある相談機関や各種団体、関係機関との連携による適切な支援を実施するため、支援プラン策定にかかる支援調整会議への参加を求めるとともに、「くらしのサポートコーナー」による事例報告や参加者が相互に意見交換できる場を設定する。</p>					
	業績目標（中間アウトカム）	<p>・生活困窮者自立支援にかかる関係機関との事例報告・意見交換会を実施するとともに、支援プランを策定する際の支援調整会議において、外部の関係機関と連携する割合を70%以上とする。</p> <p>【撤退基準】支援プランを策定する際の支援調整会議において、外部の関係機関と連携する割合が50%以下の場合は事業を再構築する。</p> <p>前年度までの実績</p> <p>平成27年度</p> <p>・新規相談受付件数：300件（平成27年12月末時点） （人口1000人あたり）3.66人で24区中2位 ・支援プラン策定数：94件（24区中1位）</p> <p>・関係機関との事例報告・意見交換会：2回実施</p>					
中間振り返り	業績目標の達成状況	<p>①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成</p>					
	戦略に対する取組の有効性	<p>○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)</p>					
自己評価	取組実績	<p>課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p>					
	業績目標の達成状況	<p>改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p>					
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	<p>○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)</p>					

めざす成果及び戦略 3-4 【健康寿命の延伸】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・自らの健康を保つために、食事の改善や適度な運動などの健康的な生活習慣を持つ区民を増やす。 ・よりよい生活環境づくりが進んでいる。	戦略<中期的な取組の方向性> ・生活習慣病を予防するため、一人ひとりに応じた食生活の改善や適度な運動の取組方法など、健康的な生活習慣についての啓発を行い、健康づくりを支援する。また、11月の健康月間には、区内の健康増進活動を行っている事業者や団体・グループなどと連携・協働して、区民が主体的に生活習慣の改善や健康づくりに取組む機会や場を提供する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ※重点目標 ○特定健康診査の受診率 27年2月:12.6% → 31年度:23.6%以上 ○「健康づくりに取り組んでいる」と答えた区民の割合 31年度:26年度の5ポイント増 ○「週2日程度以上運動を行っている」と答えた区民の割合 26年度:42.3% → 31年度:75%以上 ○がん検診(胃がん)の受診率 26年度:4.7% → 31年度:16%以上	・疾病の早期発見につながるよう、がん検診や健康診査を受診しやすい環境整備を行うとともに、積極的な広報を行う。

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
			A:順調 B:順調でない

具体的取組 3-4-1 【区民の健康増進】

26決算額 448千円 27予算額 521千円 28予算額 527千円

計画	取組内容 運動習慣づくりや食生活の改善など、区民の自主的な健康づくりをさらに進めるため、これまで養成してきた運動サポーターと協働して運動・健康づくり講座の開催を区内全域に広げ、区民の健康の保持・増進を促すとともに、運動を中心とした健康づくり全般の知識の普及、啓発を図る。 特に11月を港区健康月間と位置付け、健康づくりイベントを開催にあわせて、健康増進活動を行っている団体やグループ、関係機関、事業者等と連携して、区民が気軽に参加できるような健康づくり支援の取り組みを行う。 ・運動サポーターと協働した運動・健康づくり講座:6地域各1回 健康づくりイベント 1回	業績目標 (中間アウトカム) 健康月間中に健康づくり支援の取組み協力を得た団体、グループ、関係機関等:17団体以上 【撤退基準】 健康月間中に健康づくり支援の取組み協力を得た団体、グループ、関係機関等が12団体未満であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績 ・健康フェスタ 25年度:1回 (737人) ・運動講座(健港プロジェクトX) 25年度:3講座(48人) 26年度:2講座(32名 8月末現在) ・運動サポーターステップアップ講座(区役所内実施) 25年度:11回(延267人) 26年度:11回(延303人) 27年度:5回(延158名 8月末現在) ・運動サポーター地域講座 26年度:2地域各2回 27年度:2地域各1回 (8月末現在) ・健康月間中に健康づくり支援の取組み協力を得た団体、グループ、関係機関等 26年度:12団体 27年度:17団体 (8月末現在)

中間振り返り	業績目標の達成状況	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	

戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)
--------------	---

具体的取組3-4-2

【がん検診・特定健康診査の受診率の向上】

		26決算額	245千円	27予算額	277千円	28予算額	277千円
計画	取組内容	<p>区民のがん検診及び特定健康診査の受診率の向上を図るため、区広報紙やホームページによる年間の検診日程の周知、各事業・イベントなどを利用する。また、関係団体への普及啓発活動のほか、女性特有のがん検診推進事業(乳がん検診)における休日開催日を増やすことを検討するとともに、国民健康保険加入者を対象に区の広報紙など関係団体の協力を得て、広報・周知を行う。</p>					
	<p>(希望数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診実施 20回 ・特定健診の実施 10回 	<p>業績目標(中間アウトカム)</p> <p>保健福祉センターで実施するがん検診(胃がん)の受診者数:50人/回</p> <p>【撤退基準】</p> <p>保健福祉センターで実施するがん検診(胃がん)の受診者数が45人/回以下であれば事業を再構築</p> <p>前年度までの実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診(胃がん)の実施 24年度:8回(55人/回) 25年度:8回(52人/回) 26年度:9回(50人/回) 27年度:3回(46人/回 8月末現在) ・特定健診の実施 24年度:10回(70人/回) 25年度:10回(57人/回) 26年度:10回(61人/回) 27年度:2回(60人/回 8月末現在) 					
中間振り返り	業績目標の達成状況	<p>課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p>					
	<p>①:目標達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>②:目標未達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>③:撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性</p>	<p>○:有効</p> <p>×:有効でないため取組を見直す</p> <p>—:中間アウトカム未設定(未測定)</p>					
自己評価	取組実績	<p>課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p>					
	<p>業績目標の達成状況</p> <p>①:目標達成(i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>②:目標未達成(i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>③:撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性</p>	<p>改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p> <p>○:有効</p> <p>×:有効でないため見直す</p> <p>—:中間アウトカム未設定(未測定)</p>					

めざす成果及び戦略 4-2 【「子育て世代」の応援】

計画	めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定> ・安心して子育てできる環境づくりが進んでいる。	戦略<中期的な取組の方向性> ・共働き世帯のニーズにも応える多様な保育サービスの充実を図り、待機児童ゼロに向けた取組を進める。 ・地域の子育て支援団体やグループと連携し、気軽に子育てについて相談できる体制を整えとともに、区内の多様な子育て関係情報をわかりやすく提供する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ※重点目標 ○「子育てしやすい」と答えた、子どもを持つ20代～30代の区民の割合 26年度:40.3% → 31年度:72%以上 ○待機児童の数 27年度:2人→31年度:0人 平成27年度施行の子ども・子育て新制度が対象とする入所保留児童数に対する入所枠の確保	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
	A: 順調 B: 順調でない		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない	

具体的取組4-2-1 【保育所待機児童への対応】

		26決算額	- 円	27予算額	- 円	28予算額	- 円
計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)					
	低年齢児の保育所入所枠を確保するため「小規模保育事業」を実施し、事業所を確保するために事業者を公募する。 子ども及びその保護者等、または妊娠している方に対し、個別のニーズや状況を把握し、認定こども園・幼稚園・保育所や一時預かり、放課後児童クラブ等の地域子育て支援事業等の中から適切なものを選択し、円滑に利用できるようにするため、利用者支援専門員を港区役所に配置して、「利用者支援事業」を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模保育事業所を少なくとも1ヶ所新設する。 【撤退基準】規模保育事業の開設に応募する事業者がなければ公募内容を見直す。 					
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成 ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)	前年度までの実績 <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度実績: 保育ママ事業所3ヶ所開設。 ・平成26年度実績: 小規模保育事業所1ヶ所開設。3ヶ所の保育ママ事業所を小規模保育事業所へ移行。 ・公募による認可保育所1カ所開設(平成26年9月) ・平成27年度実績: 小規模保育事業所1ヶ所開設及び利用者支援専門員1名配置。 ・自主整備による認可保育所1カ所決定(平成29年4月1日開設予定) 					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
		①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成 ○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)					

具体的取組4-2-2 【子育て支援情報の提供】

		26決算額	325千円	27予算額	412千円	28予算額	412千円
計画	取組内容	子育てされている方をサポートするために、子育て支援情報を的確に提供するほか、乳幼児健診時に状況に応じた支援や相談、情報提供を実施する。また、必要に応じ家庭訪問を実施する。 子育て支援情報を支援機関と連携して積極的に発信し、地域の身近なところで子育て相談や不安が相談できるしきみを作る。 ・区広報紙の特集号の作成、配布：1回 ・乳幼児健診時(月3回 年36回)の子育て関連情報の提供及び相談 ・「楽育子育てマップ」の作成：6,000部					
	業績目標 (中間アウトカム)	子育て情報が役にたったと答えた区民の割合が80%。 【撤退基準】 60%未満であれば事業事業を再構築する。					
中間振り返り	業績目標の達成状況	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成					
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
自己評価	取組実績	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成					
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)					

具体的取組4-2-3 【子育て相談機関による支援の充実】

		26決算額	-円	27予算額	-円	28予算額	-円
計画	取組内容	子ども・子育てプラザによる子育て支援講座や親子イベントの開催、子育てサロンやサークルの活性化に向けた支援を実施する。 プラザ、はっぴいポケットみ・なと、子育て支援センターによる親子のつどいの場を通じ、親同士の交流や情報交換、また、児童養育等に関する相談に応じる。 子育て支援機関が要保護児童の情報を共有し、相談機能や対応力を向上させる。 ・「子育て支援室」、子ども・子育てプラザ、はっぴいポケットみ・なと、子育て支援センターとの4者会議の開催：12回 ・子育て支援連絡会の開催：12回					
	業績目標 (中間アウトカム)	「子育て支援室」、子ども・子育てプラザ、はっぴいポケットみ・なと、子育て支援センターとの4者会議を年12回(月1回)実施。 【撤退基準】 4者会議が10回以下であれば事業事業を再構築する。					
中間振り返り	業績目標の達成状況	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成					
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
自己評価	取組実績	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成					
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)					